

<b>事業所名</b>	<b>グループホーム 長寿の郷真備</b> (クリックすると事業者の情報にリンクします)
日付	平成21年 4月 3日
<b>評価機関名</b>	<b>㈱東京リーガルマインド</b> (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
<b>評価調査員</b>	A:現職 社会福祉法人生活指導員、居宅介護支援事業所管理者 資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー B:現職 介護保険施設勤務 資格・経験 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー
<b>自主評価結果を見る</b>	(事業者の自主評価結果にリンクします)
<b>評価項目の内容を見る</b>	(評価項目にリンクします)
<b>事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)</b>	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

### 外部評価の結果

<b>講評</b>
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームの周辺には、田園地帯が広がる自然豊かな静かな環境があり、交通量も少なく、日々、安全に散歩を楽しめる。空気の良い、開放的な環境は、入居者の五感への快い刺激や精神的な安定にもつながっている。</li> <li>すぐ近くの医療機関と提携し、入居者の日々の健康を支えている。往診や受診、健康相談にも気軽に応じてもらえ、緊急時には昼夜を問わず対応してもらえることは、入居者・家族、職員にとっても心強い。また、看護資格を有する職員も配置し、入居者の健康面・医療面での支援体制を万全に整えている。</li> <li>職員の採用にあたっては、認知症に対する深い関心とその人の持つ資質を見極め、全職員が同じ意識を持ち、一つのチームとして入居者のケアに携われるよう取り組んでいる。</li> <li>「最後まで自分らしく」をモットーとし、入居者がホームを終の棲家として安心して暮らせるよう、看取りに関する指針を定め、入居者の尊厳に配慮した介護を行っている。</li> <li>法人の理念とする「質の高いケアサービス」の提供をめざしており、部長を中心に日々の業務の中で介護技術や知識の向上を図っている。また、入居者が安全に安心して暮らし続けられるよう、常に初心に戻って入居者のケアにあたっている。</li> </ul>
特に改善の余地があると思われる点(記述)
特に改善の余地があると思われる点は無い。 ・開設して2年が経過し、入居者との関わりをより深く、一人ひとりと向き合いながら質の高い介護サービスの提供に努めている。今後も、法人の掲げる理念に沿い、より地域に根ざしたホームとして邁進していかれることを期待する。

### I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
<b>記述項目</b>	<b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者の希望に沿った生活の実現をめざし、入居者一人ひとりの暮らしのペースを大切に、その日、その時の本人の気持ちを尊重した支援を心がけている。</li> <li>家族とは、入居者の日頃の暮らし振りや状態等情報を密に交換して共有し、入居者を共に支えていくための協力関係の構築に努めている。</li> <li>入居前と変わらぬ暮らしを継続し、家庭と同じ環境の中で時間やスケジュールに追われることなく、自由にその人らしく暮らせる生活の場の提供に努めている。</li> <li>入居者への安定した質の高い介護を提供するため、接遇マナー等日々の業務の中で介護技術や知識を高められるよう、指導を徹底している。</li> </ul>		

### II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
<b>記述項目</b>	<b>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員は、認知症に関する情報を共有して入居者への理解を深め、入居者が日々安心して過ごせるように支援している。また、必要以上に手を出さず、入居者の様子を見守り、入居者が自由に自分のペースを保ちながら暮らせるように支援している。</li> <li>入居者に対する言葉掛けや態度、関わり方等、入居者の状態に合わせて丁寧に呼びかけ、ゆったりとした態度で接し、入居者が伸び伸びと穏やかな気持ちで暮らせるように支援している。</li> <li>塗り絵やけん玉、双六等、入居者個々の力量に合わせた楽しみごとを作り、張り合いや喜びのある日々を過ごせるように支援している。</li> <li>自宅と変わらぬ暮らしを継続し、入居者が主体となってその人らしい生活が送れるよう、個性のある支援の提供に努めている。</li> </ul>		

### III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

### III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の変容に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
<b>記述項目</b>	<b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者の今までの暮らしや好きな事、得意とする事等を把握し、その人らしい暮らし方や力を発揮できるように支援している。また、気持ち良く自発的にやってもらえるように言葉をかけ、入居者それぞれのペースで自由に楽しみ、達成感を味わえるように働きかけている。</li> <li>居室に入る時は、必ずノックをして許可を得てから入り、居室内に探し物がある時には入居者と一緒に探すようにしている。入居者のプライバシーに関する話は、安易にしないように職員間に徹底している。</li> <li>個人に関する書類は事務室で保管し、不要になった書類はシュレッダーにかけて処分するようにしており、プライバシー保護の徹底や個人情報漏洩防止に努めている。</li> </ul>		

### IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
<b>記述項目</b>	<b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理者は、一日の業務について文書等を用いて職員に伝え、統一したケアを入居者に提供できるように努めている。職員も、安定したケアを提供できるように日々の業務にあたってあり、管理者・職員が協働して介護技術や知識の向上に努めている。</li> <li>入居者の自由な活動を支援しており、玄関には出入りが分かるようセンサーを設置し、入居者の安全に配慮しながら入居者の自由な暮らしを支援している。</li> <li>入居者一人ひとりの状態を把握し、事故を未然に防ぐよう取り組んでいる。また、事故が発生した場合には、対応マニュアルに沿って迅速に対応し、事故の状況や原因等を探り、今後の対策について検討し、事故及び問題発生を抑止・防止に努めている。</li> </ul>		